

(事例94) 20～50代男性、運転手、検査でSASと診断された場合運転不可

類型	症候	疾患
2	3. 自覚症状なし(ポリソムノグラフィーでSAS疑い)	5. SAS

きっかけ	<input type="checkbox"/> 健康診断の有所見	■その他の機会 (スクリーニング)
1. 対象者のプロフィール 1) 年齢、既往歴 20～50代 男性 既往の有無は関係なし  2) 業種、作業内容 バスの運転手		
2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 (例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 検査で基準以上のSAS診断		
3. 就業制限・配慮の内容 (例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 運転不可 (治療開始し、改善が確認されれば運転可能)		
4. 事例の詳細 (背景、経緯、特に考慮した事情など) 全運転手に対して、定期的なSASスクリーニング検査の結果、ポリグラフ検査を施行している。		
5. 就業制限・配慮の主な目的 (複数回答可) 2 企業リスクが予見されたため (交通事故、公衆災害の発生など)		
6. 就業制限を実施するにあたって注意したこと、阻害要因、問題点などあれば教えてください。 症状がない場合が多く、本人の納得が得にくい。		